



 Something **Better** with Chemicals

株式会社 大阪ソーダ

〒530-0001

大阪市北区梅田三丁目2番2号 JPタワー大阪19階

TEL:06-7733-1001 FAX:06-7733-1101

www.osaka-soda.co.jp

化学でもっといいこと。 それが私たちの志です。

私たちは、グループ企業理念である

「独創的な技術と製品により 安心で豊かな社会の実現に貢献します」

という考えのもとさまざまな事業を通じて、

変化し続ける時代のニーズに応えつづけてきました。

世界のすべての人びとに、もっと幸せな社会を、もっと健康な毎日を

それこそが企業としての社会的責任であると考えています。

私たちはこれからも、創業時から受け継いできた

独創的なものづくりのDNAで新たな価値を創造し、

「化学でもっといいこと。」を実現していきます。



Message

大阪ソーダは、1915年に創立され、国内で初めて電気分解によるかせいソーダの工業化に成功しました。以来、当社グループは独創的なものづくり技術を駆使し、創業事業である基礎化学品をはじめ、グローバルニッチの機能化学品、医薬品原薬・中間体など、さまざまな化学製品の提供を通して産業の発展に貢献してまいりました。

現在、私たちは「化学を通じて社会が求める新たな価値を提供する企業グループ」を目指し、機能化学品およびヘルスケア事業の拡大、バイオや環境をはじめとする新たな事業領域への展開を図り、高付加価値製品を中心とした強い事業構造の構築を進めています。

その実現に向けて、私たち大阪ソーダグループは、これからも化学の可能性を追求し、常に新たな領域へ挑戦する活力と革新力をもって産業や社会の発展に役立つものづくりを推進してまいります。



代表取締役 社長執行役員
寺田 健志



case
01

**水道から安全な水が出る。
当たり前の安心を
きょうも守る。**

毎日の暮らしに、無くてはならない水。きちんと安全・衛生が管理されているからこそ、私たちは安心して水を飲んだり、料理に使ったりすることができます。その衛生管理を支えているのが、滅菌作用に優れた「次亜塩素酸ソーダ」。上下水道の滅菌・消毒など水処理に欠かせない薬品のひとつです。



case
03

**キレイで、見やすいだけの
食品容器じゃない。
環境のこととも、ちゃんと。**

食卓にならぶ、牛乳やジュースの紙パック。そのパッケージの多くに、有機溶剤フリーの印刷用UVインキが使われ、デザインだけでなく、環境にもこだわった容器がつくられています。「ダップ樹脂」や「ノンフタレート型アリル樹脂」を使用したUVインキは速乾性に優れ、紫外線を当てるとわずか数秒で乾燥。地球にやさしく、作業性に優れたパッケージ印刷を実現しています。



case
02

**エンジンの、小型化を支える。
地球にやさしい
ドライブを叶える。**

環境にやさしい自動車が、ますます求められている今。CO₂排出量を減らす取り組みのひとつとして、エンジンルームの小型化が進んでいます。しかし、小型になると熱が逃げづらくなり、エンジンまわりの温度が上昇。この高温化の対策に一役買っているのが、特殊合成ゴム「エピクロルヒドリンゴム」や「アクリルゴム」です。熱や油に強いエンジンホースの材料として、自動車の環境性能の向上を支えています。



case
04

**健やかな、明日を願う。
医薬品の研究開発を
世界中で支える。**

現代社会のストレスや生活習慣の変化から、健康への関心が世界的に高まっています。「液体クロマトグラフィー用シリカゲル」は、有効成分と不純物を分離させたり、医薬品の純度を高めるために活用されています。医薬品の開発や製造などに活かされ、見えないところで人々の健康を支えています。

サステナビリティ



大阪ソーダは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

化学の可能性を追い求め、新たな領域へと挑戦し持続可能な社会の実現に貢献し続ける。

化学によるイノベーションを通じて社会が抱えるさまざまな課題の解決に取り組むことは、化学の事業に携わる私たちの使命です。当社グループは基盤技術の深化・融合によって生み出された優れた製品、技術による貢献はもちろん、環境と安全に配慮したものづくりを強化し、全社活動を通じてSDGsへの貢献を果たしてまいります。

生産活動における取り組み

当社グループでは、地球温暖化などの気候変動を緩和するための活動として、GHG排出量削減や環境負荷低減に向けた取り組みを継続して推進しています。また、環境保全や労働安全衛生活動、将来を担う人材の育成にも積極的に取り組んでいます。

労働安全衛生・保安防災



化学品の管理、安全・品質



気候変動問題への対応



環境保全



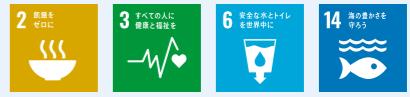
人材育成



事業活動における取り組み



化学品事業



かせいソーダや次亜塩素酸ソーダをはじめとするクロール・アルカリ製品は、水処理薬品や肥料・農薬原料、殺菌・除菌剤に使用されており、安心で衛生的な生活環境づくりに貢献しています。



機能材事業



省エネルギーで有機溶剤を使用しないUVインキに使用されるダップ樹脂、自動車の蒸散ガス低減に貢献するエピクロルヒドリンゴム、エコカーのターボエンジン周りに搭載されるアクリルゴム、省エネタイヤ用改質剤として使用されるCABRUSTMなど、グローバルニッチの製品で環境負荷の低減に貢献しています。さらに、モビリティー、情報・通信、環境・エネルギーの領域で当社の独創性を活かした研究開発を推進しています。



ヘルスケア事業



当社独自の有機合成、バイオ、クロマトグラフィーの3つのコア技術を駆使した医薬品原薬・中間体および精製材料の製造を通じて、医薬品業界を支えています。また、近年では多様化する治療手段に対応しバイオ医薬品など成長分野への展開による新たな事業の創出を目指しています。

私たちは、独自の電解技術をもとに
化学の可能性を広げ、さまざまな産業を支えています。

化学品事業 機能材事業 ヘルスケア事業 その他 [] : 製品名 ◆ : 原料



化学品事業

創業以来育んできた確かな技術で
安心、安全な暮らしを支えていく。

創業以来のコアビジネス クロール・アルカリ

原塩を電気分解して製造されるクロール・アルカリは、製品として販売されるほか、当社グループの数多くの製品の原料としても使用されています。原料から製品までの一貫生産により安定的な供給を可能としています。

かせいソーダ／塩素ガス／液化塩素／水素ガス／かせいカリ／塩酸／次亜塩素酸ソーダ／低食塩次亜塩素酸ソーダ【メックロン™】／塩化第二鉄／塩素酸ソーダ／亜塩素酸ソーダ／安定化二酸化塩素【ダイソーオスロン™】



かせいソーダ



次亜塩素酸ソーダ



水素ガス

紙・パルプ、繊維の漂白や食品・化学製品全般の製造過程など幅広い分野で使用されています。

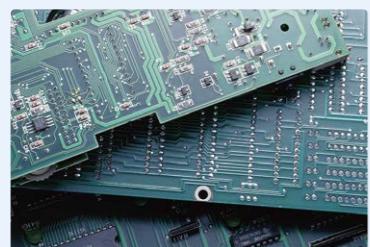
主に上水道の滅菌に使用されています。特に高品質グレード「メックロン™」は高度な衛生管理が必要となる分野で採用されています。

CO₂を排出しないクリーンエネルギーとして今後の有効利用が期待されています。

当社の“独創的なものづくりの源泉” アリルクロライド／エピクロルヒドリン

アリルクロライド(AC)とエピクロルヒドリン(EP)はプロピレンの塩素化により製造されます。これらは当社の独創的な機能化学品の主原料として用いられています。またエポキシ樹脂などの原料としてさまざまな産業を支えています。

アリルクロライド／エピクロルヒドリン／1,3-ジクロロプロパン[DC]／トリクロロプロパン



エピクロルヒドリン



アリルクロライド

電子部品の封止材をはじめ、橋梁、船舶などの防錆塗料や炭素繊維のバインダーなど、さまざまな用途で活躍しています。

エピクロルヒドリンの原料として使用されるほか、農薬や医薬品の原料にも使われています。

機能材事業

変化し続ける世界に独自の技術で応え
明日の進化を叶えていく。

世界トップの販売実績を誇る アリルエーテル類

アリルエーテル類はアリルクロライド、エピクロルヒドリンを原料とする多官能の有機中間体で、電子材料やコーティング分野をはじめ多彩な用途に展開しています。

アリルグリシジルエーテル【ネオアリル™G】／トリメチロールプロパンジアリルエーテル【ネオアリル™T-20】／ペンタエリスリトールトリアリルエーテル【ネオアリル™P-30】／グリセリンモノアリルエーテル【ネオアリル™E-10】／ジアリルジメチルアンモニウムクロライド[DADMAC™]



ネオアリル™G



ネオアリル™T-20



DADMAC™

シランカップリング剤の原料として半導体の封止やプリント基板など、樹脂と金属・ガラス繊維の密着性向上に役立っています。

高級木工塗料の速乾性向上のための添加剤として採用されています。

繊維の色落ちを防ぐ染料固定剤、水の浄化処理から樹脂添加剤まで幅広く使用されています。

耐熱性に優れた特殊合成ゴム エピクロルヒドリンゴム／アクリルゴム

耐熱性、耐油性、低温特性などの物性バランスに優れるエピクロルヒドリンゴムは、自動車の高性能化と環境規制に対応するほか、半導電特性を活かしてOA機器分野でも活躍しています。また、アクリルゴムは、高温条件下で高い耐油性を発揮します。

エピクロルヒドリンゴム【エピクロマー™】【エピオン™】／アクリルゴム【ラクレスター™】



エピクロマー™



エピオン™



ラクレスター™

自動車用燃料系ホース、吸排気系ホースに採用されています。

デジタルカラー複合機の帶電・転写・現像ロールに採用されています。

軸受シール、自動車用オイルシール、吸排気系ホースに使用されています。

ヘルスケア事業

グローバルニッチトップの熱硬化性樹脂

ダップ樹脂(ジアリルフタレート樹脂)/ノンフタレート型アリル樹脂

ダップ樹脂は高い耐熱性と電気絶縁性を併せ持つ熱硬化性樹脂で、主に電子・電気部品に使用されています。近年はUVインキにも使用され、活躍の場が広がっています。また、ダップ樹脂の特徴をそのままに、ノンフタレート型アリル樹脂「RADPAR™」を開発し、プラスチック基材用UVインキで採用が拡大しています。

ジアリルフタレートプリポリマー[ダイソーダップ™]/ジアリルイソフタレートプリポリマー[ダイソーアンドダップ™]
ジアリルオルソフタレートモノマー[ダイソーダップ™モノマー]/ジアリルイソフタレートモノマー[ダイソーダップ™100モノマー]
ノンフタレート型アリル樹脂[RADPAR™]



ダイソーダップ™

電気制御盤など高い耐久性が求められる電気部品・電装部品に採用されています。



ダイソーダップ™

環境にやさしいUVインキの添加剤として、フードパッケージなどの食品容器の印刷に使用されています。



RADPAR™

プラスチック素材用UVインキ添加剤に使用されています。

環境に配慮した高耐久性電極 電極

創業以来蓄積してきた電気化学の確かな技術とノウハウで製造された電極は、消費電力の低減効果により環境保護に役立つだけでなく、長寿命で耐久性に優れるため、お客様のコストダウンにも貢献しています。特に酸素発生用電極では国内トップシェアを誇っています。

電極(NEOLORD™シリーズ:酸素発生用電極、塩素発生用電極、水電解用電極)、付帯プラントエンジニアリング



塩素発生用電極

クロール・アルカリ製造用の電極に使用されています。



酸素発生用電極

家電製品のボディの鋼板めっきの工程やリチウムイオン電池の集電体に使用されています。



水電解用電極

アルカリイオン整水器や業務用の強電解水生成装置などに使用されています。

自動車のCO₂排出量削減に貢献 省エネタイヤ用改質剤

当社の「CABRUSTM」は低燃費タイヤの改質剤として使用されています。

CABRUSTMを配合することでゴムとシリカの結合を補助し、タイヤの転がり抵抗を減少させるだけでなく、濡れた路面での制動性能を発揮します。当社は、このような製品の提供により、CO₂削減をはじめ地球環境保全に貢献してまいります。

ポリスフィド系シランカップリング剤[CABRUSTM]



CABRUSTM

開発から製造まで、信頼の性能で健やかな笑顔を広げていく。

医薬品の分析や精製に欠かせない高性能シリカゲル 液体クロマトグラフィー用シリカゲル

GMP管理の下で製造される液体クロマトグラフィー用シリカゲルは、機能性分離材料として、新規医薬品の研究開発や精製工程に使用されています。300種類を超える豊富なグレードと分析・分取用充填カラムや分析装置など周辺商材の充実したラインナップに加え、きめ細やかな技術とサービス提供によりお客様のご要望に応えています。

液体クロマトグラフィー用シリカゲル[ダイソーゲル™]/各種充填カラム[ダイソーパック™][カプセルパック™]



ダイソーゲル™(拡大図)



ダイソーパック™/カプセルパック™



GMP対応修飾型シリカゲル製造設備

バイオと有機合成で健康と豊かさをサポート 医薬品原薬・中間体

触媒技術を用いた光学活性体原料、遺伝子組み換え技術による糖関連化合物、抽出技術を用いた各種酵素、国内最大級のGMP対応凍結乾燥など特殊技術を駆使して、医薬品原薬・中間体メーカーとしての地位を確立してきました。その技術は診断薬や化粧品原料など、ライフサイエンスの多彩な分野にも活かされています。当社グループはこれからも、信頼される医薬品開発のパートナーとして、品質の高い製品を提供してまいります。

各種医薬品原薬・中間体の受託生産、光学活性体、各種診断薬、化粧品原料



受託生産



各種医薬品原薬・中間体



肝機能診断薬[ユーバステック™・オート]

各種医薬品原薬・中間体の受託生産、光学活性体、各種診断薬などを提供しています。

研究開発



事業化マインドを持った技術開発集団が オンリーワンの価値を生む。

大阪ソーダは独創的なものづくりを通じて、数々のスペシャリティケミカルを生み出し、世界トップシェアを獲得する製品を提供してきました。事業開発本部は、大阪ソーダのコアとなる基盤技術の更なる向上を目指すイノベーションセンターを直下に置き、“事業化マインドを持った技術者集団”として活動しています。

イノベーションセンターでは、当社独自技術を活かした開発テーマの探索や立案を担う「開発企画グループ」が中心となり、新規事業や新製品の可能性を追求しています。また、経営企画部に属する「開発営業グループ」は、新規テーマ探索に特化し、将来の成長を支える新たな事業機会の発掘に注力しています。各開発グループは、司令塔である開発企画グループの管理下で、新素材の開発や既存事業周辺の新規グレード、新用途の開発に取り組んでいます。

これらの役割の異なる組織が綿密に連携することで、事業化速度を高め、オンリーワンの価値を創造し続けています。大阪ソーダは、今後も豊かな社会の実現に貢献してまいります。



〈研究開発4つの注力分野〉

環境・エネルギー

エネルギー効率向上、長寿命化、無溶剤化など環境・エネルギーに貢献する材料

- 主な開発テーマ……全固体電池用高イオン伝導性材料、LIB用ポリマー電解質、LIB用水系バインダーなど



モビリティ

CASE、MaaS、Society5.0 がもたらすモビリティの電動化を支える機能素材

- 主な開発テーマ……新規アクリルゴム、センサー・アクチュエータ材料、新規タイヤ用カップリング剤など



情報・通信

スマート社会の基礎となる高度通信ネットワークにおいて必要とされる製品

- 主な開発テーマ……焼結ペースト用銀ナノ粒子、高性能カーボンナノチューブなど



健康・ヘルスケア

新規医薬品精製材料・技術、アンチエイジング素材

- 主な開発テーマ……バイオ医薬品用新規精製材料、新規アンチエイジング素材、医薬品原薬・中間体(高薬理活性・バイオ)など



生産体制・品質保証・安全衛生



生産体制

各工場が連携して、安定供給を実現。
革新と改善により、グローバル競争力を発揮。

大阪ソーダでは、北九州工場(九州地区)、尼崎工場(関西地区)、松山工場(四国地区)、水島工場・岡山工場(中国地区)の生産拠点を国内に展開。各消費地に近接したロケーションで操業を行い、お客様に迅速に製品をお届けできる体制を整えています。

さらに、5工場で生産を行うことにより、万が一災害やトラブルによっていずれかの工場が稼働に支障をきたした場合でも、他の工場が速やかに生産を補完できる仕組みを構築しています。

また、グローバル競争に打ち勝つため、各工場がそれぞれの目標を設定し、品質と生産性を維持しながらコスト競争力を高めるための改革と改善を積極的に進めています。



北九州工場 |
九州地区のかせいソーダおよび塩化物の供給拠点



尼崎工場 | ISO9001登録番号JQA-1181
各種無機製品や電極、シリカゲルなどの中核製造拠点



松山工場 | ISO9001登録番号JQA-0998
機能化学品を中心とする有機製品の生産拠点



水島工場 | ISO9001登録番号JQA-0539
岡山工場 |
アリクロライド、エピクロルヒドリンおよび当社最大規模のかせいソーダ生産拠点

品質保証

ISO9001、GMPにより製品の品質管理を徹底し、品質保証レベルを継続的に改善。

「お客様の満足する製品を提供します。」を目的に、品質マネジメントシステムに関する国際規格ISO9001や、医薬品関連製品のGMPによる品質管理を行い、製品の信頼性と安全性を確立し、品質保証レベルの継続的改善に努めています。

[GMP対応工場] Good Manufacturing Practice 医薬品および医薬部外品の製造・品質管理の基準です。



尼崎工場
修飾型シリカゲル製造設備



サンヨーファイン株式会社
松山工場



サンヨーファイン株式会社
福井工場



サンヨーファイン株式会社
加古川事業所



レスポンシブル・ケア[®]

安全衛生

環境安全衛生・保安防災委員会を中心に重大事故、労働災害の撲滅を目指す。

大阪ソーダでは、全社RC委員会、RC推進会議、各事業所の環境安全衛生・保安防災委員会を中心に、安全衛生、保安防災活動を推進しています。特に、ZA(ゼロアクシデント)、重大事故防止対策の活動をPDCAサイクルで取り組み、重大事故および労働災害の撲滅に努めています。

グループネットワーク

国内外に広がるグループの力を
さらに大きな未来へ進む原動力に。

社　　名 株式会社 大阪ソーダ
OSAKA SODA CO.,LTD.

代　　表　　代表取締役 社長執行役員 寺田 健志

本　　社　〒530-0011 大阪市北区梅田三丁目2番2号
JPタワー大阪19階
TEL 06-7733-1001 FAX 06-7733-1101

事　　業　　東京支社／中四国営業所／九州営業所
研究センター／北九州工場／尼崎工場
松山工場／水島工場／岡山工場



■ 国内グループ会社



DAISO KEMICAL株式会社
[化学製品・生活関連商品等の販売]

本社／大阪市北区梅田三丁目2番2号
JPタワー大阪19階
事業所／東京オフィス、九州営業所、松山
営業所、三島営業所、台湾駐在員事務所



DAISO ENGINEERING株式会社
[電極の製造・販売、メンテナンス]

本社／大阪市北区梅田三丁目2番2号
JPタワー大阪19階
工場／尼崎、岡山



サンヨーファイン株式会社
[医薬品原薬・中間体の製造・販売]

本社／大阪市北区梅田三丁目2番2号
JPタワー大阪19階
事業所／東京営業所、尼崎事業所
加古川事業所、福井工場、松山工場



株式会社ジェイ・エム・アール
[資源リサイクル]

本社・工場／兵庫県尼崎市高洲町9-2



DSロジスティクス株式会社
[化学製品の運送取扱い]

本社／兵庫県尼崎市大高洲町11
事業所／尼崎事業所、松山事業所
水島事業所



サンヨーファイン医理化
テクノロジー株式会社
[カラム・装置等分析機器の製造]

本社／京都府京都市南区東九条
西河辺町12



DSウェルフーズ株式会社
[健康食品素材の製造、加工販売]

本社／大阪市北区梅田三丁目2番2号
JPタワー大阪19階



DAISO INBプランニング
株式会社
[損害保険・生命保険の取扱い]

本社／大阪市北区梅田三丁目2番2号
JPタワー大阪19階

■ 海外グループ会社



三耀精細化工品銷售(北京)
有限公司
[カラム・装置等分析機器の販売]

本社／北京市朝陽区建国路乙118号
京匯大廈2002室
事務所／広州市



DAISO Fine Chem USA, Inc.
[医薬品精製材料の製造・販売]

本社／1750 E. Golf Rd. Suite 1140
Schaumburg, IL 60173, USA



DAISO Fine Chem GmbH
[医薬品精製材料および
機能化学品等の販売]

本社／Am Seestern 18, 40547,
Düsseldorf, Germany



大曹化工貿易(上海)有限公司
[機能化学品・電子材料等の輸出入]

本社／上海市長寧区婁山路523号
金虹桥国际中心1座1704室
事務所／広州市



DAISO CHEMICAL
(THAILAND) CO., LTD.
[機能化学品・電子材料等の輸出入]

本社／54 Harindhorn Tower, 9th floor,
Unit 9F, North Sathorn Rd, Silom,
Bangkok, Bangkok 10500

大阪ソーダの歩み

110年の歴史で培った礎を
明日へのチャレンジに活かす。

1915年
大阪曹達株式会社設立



1917年
小倉工場(福岡県北九州市)
の操業を開始



1931年
尼崎工場(兵庫県尼崎市)
の操業を開始



1948年
東京出張所(現・東京支社)
を開設



1949年
大阪証券取引所
(現・大阪取引所)
市場第一部に株式上場



1952年
松山工場(愛媛県松山市)
の操業を開始



1953年
東京証券取引所
市場第一部に株式上場



1956年
大曹商事株式会社(現・DAISO KEMICAL株式会社)
を設立



1961年
研究所(現・研究センター)
(兵庫県尼崎市)を開設



1962年
ダップ樹脂の製造開始



1968年
岡山化成株式会社を旭化成工業株式会社
(現・旭化成株式会社)と共同出資にて設立



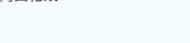
1970年
・大曹有機株式会社を
設立



・岡山化成株式会社
水島工場の操業を開始



1971年
エピクロルヒドリンの製造開始



1975年
・ダイソーエンジニアリング
株式会社を設立



水島工場

1978年
アリルグリシルエーテルの製造開始

1979年
エピクロルヒドリンゴムの製造開始

1988年
ダイソーアルミナム株式会社に社名変更

1992年
液体クロマトグラフィー用
シリカゲルの製造開始



シリカゲル製造設備

2001年
・省エネタイヤ用改質剤
「カプラス」の製造開始

・株式会社ジェイ・エム・
アールを設立



カプラス製造設備

2002年
蝶理ケミカル株式会社を子会社化し、社名を
DAISO KEMICAL株式会社とする

2005年
大曹化工貿易(上海)有限公司を設立

2006年
・DSウェルフーズ株式会社を設立
・DAISO Fine Chem USA, Inc.を設立

2008年
・DAISO Fine Chem GmbH、
DSロジスティクス株式会社を
設立



サンヨーファイン 松山工場

・サンヨーファイン株式会社の
全株式を取得

2010年
・株式会社食品バイオ研究センターの全株式を取得
・サンヨーファイン株式会社が
株式会社食品バイオ研究センターを合併

2012年
・岡山化成株式会社を完全子会社化

・株式会社インペックスの全株式を取得

・DAISO CHEMICAL (THAILAND) CO., LTD.を設立



2014年
ダップ樹脂が経済産業省
「グローバルニッチトップ
(GNT)企業100選」に選定

・株式会社INBプランニングに
資本参加

2015年
会社創立100周年
株式会社 大阪ソーダに社名変更

2016年
DAISO KEMICAL株式会社が株式会社インペックスを合併

2017年
・アクリルゴムの製造開始
・総合研究開発センター開設
・資生堂医理化テクノロジー
株式会社を子会社化し、
サンヨーファイン医理化
テクノロジー株式会社に
社名変更
・三耀精細化工品销售(北京)
有限公司を設立

アクリルゴム製造設備

2018年
・ノンフラート型アリル樹脂の
製造開始

総合研究開発センター

ノンフラート型アリル樹脂
製造設備

2021年
・岡山化成株式会社を吸収合併し岡山工場とする
・小倉工場を移転し北九州工場(福岡県北九州市)に改称

2024年
・電池研究棟の建設

電池研究棟